

平成30年度 第1回 大阪府立泉北高等学校運営協議会議事録

○ 日時：平成30年7月23日（月）15：30～17：00

○ 場所：本校会議室

○ 出席者

＜運営協議会委員＞

横山 良平氏（大阪府立大学 工学域長）、木戸 秀樹氏（堺市立若松台中学校校長）、

中村 俊一氏（立志館ゼミナール館長）、池内 博一氏（四天王寺大学 専任講師）、

深江 美智子氏（泉北高校 PTA 会長）

河村 久美子氏（泉北高校後援会 会長）は都合により欠席

1. 校長あいさつ

- ・ 学校運営協議会の役割（基本方針の承認、人材任用について他）の確認
- ・ 本校の現状説明
- ・ 学校経営計画・学校評価に関する事項に基づいた取組みに意見を頂きたい

2. 出席者自己紹介及び挨拶

3. 事務局紹介

4. 協議事項

① 平成29年度学校評価及び平成30年度学校経営計画についての報告

- ・ 今年度の主な取組みについて
変更点 ・ 国際理解教育の充実 TOEFL → 英検準1級
・ 教員の資質向上 働き方改革
- ・ ポートフォリオ記入について
- ・ SSH、SGH を進路への結びつけ
- ・ 海外交流、語学研修、トビタテ！留学 JAPAN への参画
- ・ 授業アンケート、授業見学、65分授業のデメリット改善にむけて、SMS シート活用
- ・ 英語能力4技能の育成。（両科とも）
- ・ 高大連携など生徒の意識を高める。
- ・ 進路保障について
- ・ SDG s フォーラム等説明会の開催について
- ・ 相談体制の充実
- ・ 遅刻者の減少。
- ・ 教職経験3年目までの教員研修、生徒のボランティアを募る
- ・ 働き方改革

<各運営協議会委員からご意見をいただいた>

- 英検スコアで目標設定してもいいのではないか？
- 遅刻者数について、その内訳として、遅刻をする事情のある生徒とない生徒と分けて数値を出してほしい。
- 不登校の生徒数について
- ポートフォリオの管理方法について、教員との面談で活かす方法を考えてはどうか。教員がアドバイスできるようなシステムを作らないと持続しない。
- NETが3人いるのがよい。Nativeの教員と触れ合える機会が多いことは生徒にとっていいことである。「トビタテ！留学Japan」をさらに利用してほしい。
- 授業改善について、先進的な授業を視察してみるといい。
- SGH,SSHともに、取組みが年々良くなっている。他の学校より取組みがすすんでいる。

<基本方針の承認について>

平成30年度学校経営計画を承認する。

② 今年度の主な取組について

- ・ SSHの取組みについて
- ・ SGHの取組みについて
- ・ 課題研究発表会 SDGsを自分たちのアクションプランで検証し研究する。
- ・ ボランティア企画で、グローバル活動として単位認定。
- ・ 進路状況、英語科の取組みについて